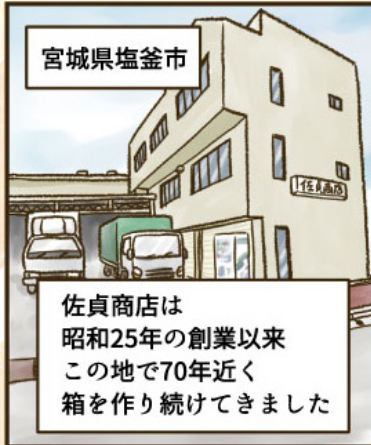
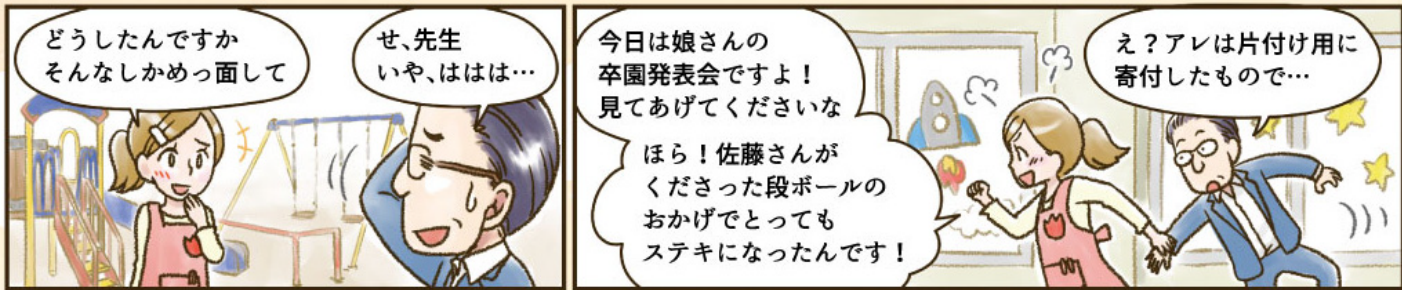


段ブロック開発秘話 心をつなぐ 未来の段ボール



平成23年3月11日 東日本大震災発生



共に検討する中で私たちの仲は深まってきましたが、教材の創造は現実的に難しいことがわかりました



はあ…残念ながらここまでだな

結局力になれず悪かったね

そうだ！あのときの…卒園式で感動した気持ちに立ち返って段ボールのおもちゃを作ってみないか！？



段ボールの…おもちゃ…!?



例えば好きに積んで形作れるレンガとか…

いや…

だったらもっと自由に組み合わせられるように…

…そうだ！ブロックにしよう！

段ボールのブロックで『段ブロック』だ!!



2年後

完成した段ブロックでこうやって実際に子どもが遊んでいるのを見ると感慨深いな



展開は順調？

元々想定していた子ども向けのイベント以外でも

支援校の教材、児童施設の玩具、企業の地域貢献活動のツール…予想を超えて幅広く興味を持ってもらえているよ



ブロックの仕上げ加工を障害者施設にお願いしてるんだって？



元々お中元やお歳暮なんかの箱折り加工を依頼してたんだけどそれ以外の時期にも仕事が増えるって喜んでもらえたよ

そうかそうか！じゃあもっと生産を増やせるよう頑張らないとな！

…俺な段ブロック開発の中で気づいたんだ

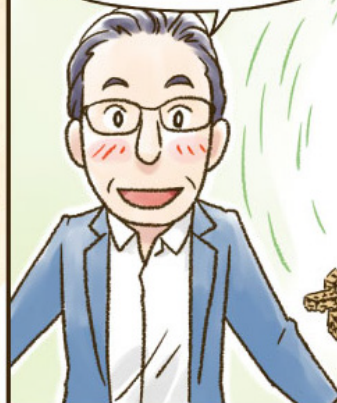
大事なことは単純に物を作って売ることじゃないその物を通して生まれる付加価値を売ることなんだって



ふむ、で段ブロックの付加価値はなんだと？



段ブロックが生み出す「場」によって人と人の心が繋がることさ…!



段ブロックはこうして生まれました



今日もどこかで段ブロックが誰かの心を繋いでいること—それが私たちの願いです